

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

日本文学にゆかりのある京都で、立地環境を生かした学びができること、また他大学にはないカリキュラムが組まれていることが、私が同志社女子大学を志望校と決めた理由です。また、教育理念にも魅力を感じ、この大学で、品格と良心をもって社会に貢献できると女性に成長したいと思いました。キリスト教精神を持った大学だということも私に合っていて、決め手の一つになりました。

(2) AO方式入学者選抜を受けようと思った理由。

同志社女子大学に進学したいという強い気持ちを、自分の言葉で直接伝えられる受験方法だったからです。その他にもアピールしたい点はたくさんあったので、それらを伝えられるのはこの受験方法しかないと思ひ、もちろん不安はありましたが、自分の可能を信じて受験することに決めました。

(3) AO方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

私は高校一年生の頃から、漢字能力検定や英語技能検定等に取り組みできました。この取り組みと、実際に取得できた資格についてアピールしました。何か一つでも資格を持っていると自信に繋がるので、まだ持っていないなら取得を、またさらに上の資格を 目指すことをおすすすめします。そして、教会への出席も大きなアピールポイントとなりました。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

全ての書類において、字の大きさや丁寧さ、そして何よりも、自分の伝えたいことを率直に述べるということを意識しました。一次審査の結果は書類で決まるので、本当に伝えたいことをどれだけ分かりやすくまとめられるかが、大変重要になってくると思います。そのため、高校の国語科の先生に添削をお願いして何度も書き直して仕上げました。早くから準備すればするほどいいものになると思います。まずは普段から簡潔な文章を書く習慣をつけておくのがおすすすめです。

〔面接〕

面接では、とにかく笑顔で目を見てはきはき話すことを心がけました。準備では、あらかじめ質問されそうなことを出願書類などから想定しておいて、それに対する答えを丸暗記ではなくキーワードを思い出せる程度になるまで練習しました。当日はとて緊張しましたが、たとえ想定外の質問をされたとしても、自信を持って、目をそらさず自分の気持ちを堂々と伝えたいと思います。また、出願書類をよく読み込むことと、大学についてもよく知識をつけておくといいと思います。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

高校三年生の春、オープンキャンパスの日にとどろきしながら配布初日のAO入試の出願書類を受け取りに行ったことをよく覚えています。それから、夏休みは毎日頭を悩ませながら出願書類と向き合い、面接練習では不安に押しつぶされそうになりました。それでも頑張れたのは、同志社女子大学に進学したいという強い気持ちがあったからです。そして、指導して下さった先生と応援してくれた両親のおかげです。もしも受験するの迷っているなら、自分の気持ちと、親身になって下さる人たちを信じて、ぜひ挑戦して下さい。応援しています。